

☆ねらい

- 英文を書くことに慣れる。
- 自分が書きたいことを既習の文法を使って表現することができる。
- 自分が書いた内容について友人と簡単な会話（chat）ができる。

☆扱う場面

- ・ 2・3年生英語の毎授業時間内の帯時間（10分程度）

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① 家庭で英作文ノートに英文日記を書く。（日常生活のこと or 本日のお題）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日記なので、2年生で過去形を習ったあとから始める。 ・ 天気・日付・曜日ははじめに必ず書かせる。 ・ 3文くらいから始める。辞書を使わせる。
② （朝のうちに教師がチェックを入れる。）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい英文をシェアするために、あるいは板書する生徒が恥ずかしい思いをしないために、できれば事前に英文を添削する。明らかなミス以外は添削しない。
③ 授業が始まる前の休み時間に3人の生徒は英日記を板書する。（書画カメラがあればよいが。）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文や内容の評価をする。基本的にほめる。特に意欲的にたくさん書いていたり、習ったばかりの文法等を使って書いてきたりしたときには Excellent などと言ってほめる。
④ ノートにメモを取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の生徒のよいところを自分の日記にも使えるように短時間（1，2分）でメモさせる。
⑤ 板書のなかの1文についてチャットするために1分間準備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文の正しさより、相手に伝えようという意欲を重視し、話す内容について短時間で考えさせる。
⑥ 相づちやつなぎ言葉を使って2分間のチャットをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めは30秒程度からはじめ、徐々に時間を延ばしていく。会話を続ける技術を教えたり、モデルとなる会話を全体にフィードバックしたりする。
⑦ 課題として、本日のチャットの内容をノートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2人の会話を文章としてノートに書き起こすことでさらに表現力を高めることができる。